

(社)日本口腔インプラント学会指定研修施設  
特定非営利活動法人  
ユニバーサルインプラント研究所

「施設内研修会  
並びに  
認定講習会最終講座」

期 日： 平成 21 年 12 月 12 日(土) 10:00～20:00

会 場： テレコムセンタービル東棟 20 階会議室  
住所 〒135-8070 東京都江東区青海 2-38

(社)日本口腔インプラント学会指定研修施設  
特定非営利活動法人 ユニバーサルインプラント研究所  
事 務 局

住所： 〒105-0004 東京都港区新橋 1-11-2 鈴木ビル3階

TEL/FAX： 03-3573-2360

E メールアドレス： uir@universalimplant.com

研究会ウェブサイト： <http://www.universalimplant.com>

電話問い合わせ時間： 10:30～13:00、14:00～17:30（土曜日は、～15:30）

定休日： 水曜日、日曜日、祝祭日

講演会参加者へのお願い

1. 会場内では必ず名札を装着してください。
2. 会場内にはクロークがございません。また荷物のお預かりは致しませんので、各自で管理してください。尚、貴重品は常に身に着けるようお願いいたします。
3. 会場内での携帯電話は、電源をお切りになるか「マナーモード」に設定し、通話をご遠慮下さい。

(社) 日本口腔インプラント学会  
施設内研修会・認定講習会最終講座  
プログラム

会場：テレコムセンタービル東棟 20 階 会議室

9:30	受付開始	
9:50	開会の辞	
10:00 ~12:00	認定講習会受講生ケースプレゼンテーション (後期・会員番号 U0118、U0122~U0129)	指導：星野清興 (UIR 施設長、指導医)
12:00 ~13:00	休憩	
13:00 ~13:40	認証医・専門医受験ケースプレゼンテーション (20分 発表 15分・質疑応答 5分) 内藤義久 (UIR 会員) 植松裕雅 (UIR 会員)	指導：星野清興 (UIR 施設長、指導医)
13:45 ~14:15	専門医更新発表 (30分 発表 25分・質疑応答 5分) 安藤正実 (日本口腔インプラント学会専門医)	座長：亀卦川博仁
14:15 ~14:45	休憩	
教育講演		
14:45 ~15:45	「医療トラブルの対処と医療過誤の対策」 菅原哲朗 (キーストーン法律事務所弁護士)	座長：清水洋利
15:50 ~16:30	ディスカッション 菅原哲朗、谷本佳彦、清水洋利	
16:30 ~17:30	「私のインプラント臨床」 榎本紘昭 (新潟再生歯学研究會施設長)	座長：谷本佳彦
16:00 ~17:00	理事会	
17:50 ~20:00	平成 21 年度 認定講習会修了式・UIR 会員忘年会 会場：テレコムセンタービル東棟 21 階展望レストラン	進行役：中川孝男

# 平成 21 年度 認定講習会修了式・UIR 会員忘年会

平成 21 年 12 月 12 日（土）17:50～20:00

会場：テレコムセンタービル東棟 21 階夜景遺産レストラン

## 式 次 第

進行 中川 孝男

### 記 念 撮 影

17：40

1.講習会受講生 2.参加者全員

17：50

施 設 長 挨 拶

星野 清興

17：55

来 賓 挨 拶

榎本 紘昭

18：00

乾 杯

菅原 哲朗

18：30

平成 21 年度認定講習会修了式

認定講習会受講生 18 名

来賓講師代表挨拶

山口 秀紀

(社) 日本口腔インプラント学会専門医授賞式

千葉 順一

カラオケ大会

20：00

閉 会

## 会場案内

### テレコムセンター東棟 (EAST) 20 階会議室

会場住所：〒135-8070 東京都江東区青海 2-38

#### 交通案内：

有料駐車場がテレコムセンター地下にございますが、忘年会で飲酒される方はお車での来場はご遠慮ください。

#### 電車 (テレコムセンター駅下車)

- “ゆりかもめ”「新橋駅」よりで 18 分、テレコムセンター駅下車。
- “りんかい線”にて「国際展示場駅」へ。徒歩で“ゆりかもめ”「有明駅」に乗り換え、テレコムセンター駅下車。

#### テレコムセンター駅からテレコムセンター会場への道順

テレコムセンター駅の改札口をでた後、**左**に進んでください。道なりに進むと約 30 秒でテレコムセンターの 2 階南口入口 (西棟：WEST) があります。入口の左側にある渡り廊下を通って行き、東棟のエレベーターにて 20 階までお乗りください (20 階は、東棟と西棟がつながっていますので直進して西棟のエレベーターに乗り 20 階についてからでも、東棟に行くこともできます)。尚、21 階展望レストランへは、20 階東棟から階段で登ってください。

#### 地図



# UIR 会員 ケースプレゼンテーション

13:00~13:20

指導：星野 清興



## 下顎左側大白歯欠損部に対し インプラント治療を行った一症例

U0038

内藤 義久

(福島県)

### 講演抄録

#### I. 目的：

近年、インプラント治療は、その認知度および予知性の向上に伴い、欠損補綴の咬合回復を図るひとつの選択肢として用いられることが少なくない。

今回、下顎左側大白歯部欠損症例に対し、インプラント治療を行い、良好に経過した症例を経験したので報告する。

#### II. 症例の概要：

患者は59歳男性、咬合時における左側臼歯部の疼痛を主訴に2002年2月来院。既往歴、家族歴は特に認められず、数年前に他院にての歯科処置を中断、放置していたが、数日前より左側臼歯部の腫脹、咬合痛を自覚したため当院を受診した。全身所見、口腔外所見に特記事項は認められなかった。口腔内所見としては、口腔清掃状態やや不良、全顎にわたり軽度から中程度の歯周病が認められた。下顎左側第1大白歯は歯肉腫脹、疼痛が著明で、パノラマレントゲン写真にて歯根破折を認めたため要抜歯と診断した。また患者が抜歯後同部および下顎左側第2大白歯欠損部にインプラント治療を希望したため、同治療の利点欠点、リスクを説明し再度同意を得た。

#### III. 治療内容

インプラント治療を施行するに辺り、口腔衛生指導および歯周初期治療を十分にし、同年12月、同部にインプラント埋入術を施行した。埋入部歯槽骨幅は頬舌径6mm、また、パノラマX線診断より下顎管までの距離は、18mmであった。これより、IATインプラント直径4.5mm長さ13mmおよび5.0mm長さ13mmを使用した。術式は通法に従い、粘膜骨膜弁を形成後埋入した。その後経過良好のため、2003年4月2次手術を施行、手術は局麻下に埋入上部を、W型に切開しヒーリングアバットメントを装着した。さらに1週間後、歯肉の安定を確認、アバットメントを交換し、印象、プロビジョナルレストレーション装着、2003年5月陶材焼付鑄造冠をセメント固定にて装着した。

#### IV. 経過

上部構造装着後1年間は、3ヶ月ごとに経過を観察し、2年目は6ヶ月ごとに、それ以降は1年ごととしたが、セラミック部の破折、周囲組織の炎症所見などは認めず、経過良好である。しかし、インプラント体周囲に、軽度骨吸収が認められることなどから、今後も定期的な経過観察が必要であると考えられた。

#### V. 結論

患者本人は、非常に満足しており、インプラント治療が、咀嚼機能回復、審美回復に有用であると示唆された。

### 演者略歴

内藤 義久 (ないとう よしひさ)

- 1995年3月 奥羽大学歯学部卒業
- 同年 歯科医師国家試験合格
- 同年 奥羽大学歯学部附属病院口腔外科学第1講座入局
- 1996年4月 奥羽大学歯学部附属病院口腔外科学第1講座助手
- 1998年4月 同講座退職
- 1999年4月 福島県白河市にて「内藤歯科クリニック」開院、現在に至る。

# UIR 会員 ケースプレゼンテーション

13:20~13:40

指導：星野 清興



## グラフトレスコンセプトに基づく 低侵襲インプラント治療

U0010

植松 裕雅

(東京都)

### 講演抄録

インプラントを埋入する部位の骨の幅+高さが不足、薄い場合、これまでは、インプラント治療にあたり、大がかりな骨の移植手術をしてから治療に望む方法が行われていました。

インプラント治療を行うために骨移植+骨造成を行うことは、手術回数・部位が多くなり、治療期間が長期に渡り、手術後の合併症のリスクが上がり、回数や期間が長いと治療費が高くなるなどのデメリットがあり、大変苦痛です。

このようなデメリットの多い骨移植・骨造成を行わずに、安全、確実に可能な限り負担がすくなくなるようにという「グラフトレスコンセプト」に基づいたインプラント治療について検討したいと思います。

### 演者略歴

植松 裕雅 (うえまつ ひろまさ)

日本大学松戸歯学部卒

口腔医科学会認定医

日本アンチエイジング歯科学会認定医

日本口腔インプラント学会会員

医療法人社団 歯整会理事

のぶデンタルクリニック三宿 院長

(プレミアムインプラントセンター併設)

# 専門医更新発表

13:45~14:15

座長：亀卦川 博仁



## patient smile with Implant

U0001

安藤 正実

(東京都)

### 講演抄録

高度に吸収した上顎骨はいかなる場合でもインプラント治療において難易度の高い症例である。従来それらの多くは一般開業医においてはしばしば不可能なケースと認定され、総義歯での対応や良くてもインプラントオーバーデンチャーで治療される場合が多いようである。

熟練したインプラントロジストによればサイナスリフトは決して難しい手技ではないようであるが、患者にとってより長期の治癒期間や免荷中の咬合不良などの負担を与えることが避けられない。

今回演者は、これら諸問題に対し zygoma implant を使用し、従来インプラント不可能とされるような高度に骨吸収を起こした上顎骨に対し即日で補綴物を装着することができ、比較的短期間に治療を完了することが可能であった。

特筆すべきはこれらの患者の多くが大きな顔貌の変化を起こし素晴らしい smile を獲得したことである。現代は混沌として、ややもすると我々自身も毎日の目的や夢のようなものを忘れがちであるが、この patients smileこそ演者が感じる我々歯科医師の人生の目的に他ならないと考えている。

### 演者略歴

安藤 正実(あんど まさみ)

1983年 昭和大学歯学部 卒業 昭和大学歯学部第二保存学教室 入局(特別研究生)

1995年 厚生大臣認可医療法人 新正会 設立

1998年 IAT Implant System 認定施設 (IAT Implant Center)

2001年 Camlog Implant System(ドイツ) 認定施設

2003年 Nobel Biocare Implant System(スウェーデン) 認定施設

日本口腔インプラント学会専門医

歯学博士

ORC 安藤歯科インプラント矯正センター理事長

UIR 理事・日本アンチエイジング学会理事・ISO 理事

A.O(アメリカインプラント学会)アクティヴメンバー

口腔医科学会認定医

ノーベルバイオケア

IAT インプラントシステム インストラクター

厚生労働省臨床研修指導医

ICOI 認定医



# 教育講演

14:45~15:45  
座長：清水 洋利



## 医療トラブルの対処と医療過誤の対策

指導者 菅原 哲朗 (東京都)

### 講演抄録

#### 第1、歯科医療における歯科医師の責務

我々がチフスや結核等の伝染病に対する近代医学の発達の見聞するとおり、ある病気が人類を死に至らせる猛威を振るっても、基礎医学の進歩とともに臨床医学の力で治療可能となってきた。医学水準が上昇し、病気の治療が確実な段階に至るまでには、その病気の進行と医療技術の進歩は、いわば拮抗・競争する関係に立つことになる。臨床医の立場では治療行為に何等の過失がなくても、不可抗力として病気の進行の程度、患者の個体差等によって不幸な結果に終わる危険が医療の内部に存在している。

それ故、医療契約による歯科医師の責務は「医療契約の本旨に従った業務上の善良な管理者としての注意義務を尽くして医療給付をなすこと」であり、それで足りるのである。診療契約は、普通には準委任契約であり、手術のように、一定の明確な事項を目的とするときは、手術行為という仕事の完成を目的とする請負契約と言えよう。そして、右契約の本旨は必ず病気を治癒させることではなく、手術の場合も全快とか成功結果でなく、その行為自体の完了である。

#### 第2、法の危機管理（危機は突然襲う。ロー・リスクマネジメント）

歯科医療過誤事件の場合、証拠保全手続きは、証拠の保全という機能を越えて、請求を根拠付ける証拠を探索する目的で使用されることが多くなっている。

証拠保全の申立てに際しては、歯科医師による改竄の恐れがあるなど、証拠を保全する必要性を示したうえで、裁判官にその必要性につき一応の確信を抱かせなければならない。決定書の送達から診療記録がコピーされるまでの時間的間隔は非常に短いことが多いので（事例により異なるが、1時間程度しかない場合もある）、歯科医師側からすれば、あっというまに記録の開示を強制されてしまうことになる。

#### 第3、判例研究

法的な問題解決を要請されたとき、先例のうち裁判所の判断という権威ある判例をもとに、類似紛争を想定し、問題解決の手掛かりとする。

### 演者略歴

菅原 哲朗（すがわら てつろう）

(学歴) 昭和 47 年 4 月	東京都立大学法学部卒業
昭和 48 年 10 月	司法試験合格
昭和 50 年 3 月	司法研修所卒業
(職歴) 昭和 50 年 4 月	日本弁護士連合会弁護士登録
	第二東京弁護士会弁護士登録
昭和 50 年 4 月	弁護士開業
平成 12 年 8 月	中国大連市外国法弁護士事務所開設
	キーストーン法律事務所主宰
平成 14 年から	日本体育・学校健康センター
	国立スポーツ科学センター倫理審査委員
(賞罰) 平成 11 年	文部大臣表彰（社会教育法施行 50 周年記念社会教育功労者）



# 教育講演

## 医療トラブルの対処と医療過誤の対策 ー歯科インプラントの法リスクマネジメントー

弁護士 菅原 哲朗

キーストーン法律事務所

(社団法人日本口腔インプラント学会専門委員)

(特定非営利活動法人口腔医科学会名誉会員)

### 第1章 臨床に内在するリスク

#### 第1節 医療（診療）契約の本旨

#### 第2節 法的責任の考え方

##### 第1項 診療契約

##### 第2項 歯科診療契約

##### ☆ 診療申込書の法的意味

診療契約 準委任契約 民法 643 条、656 条

請負契約 民法 632 条

(1) 歯科医師の義務（善管注意義務）

(2) 患者の義務

#### 第3節 危機は突然襲う。・・・歯科医師に対する証拠保全

### 第2章 医療トラブルへの対処法

#### 第1節 紛争処理の事例

##### 第1項 患者の気持ち

##### 第2項 事件の経緯

- 1 平成13年3月29日：患者初診
- 2 4月6日：感染根管処置
- 3 4月9日：午前、不在中にクレイムの電話
- 4 4月10日：医師自賠責の保険会社の連絡・相談

#### 第2節 損害賠償請求

##### 損害賠償の種類

- 1 過誤により無益な出費に終わった当初の治療費
- 2 過誤部分の再治療に要した費用
- 3 障害慰謝料
- 4 休業損害
- 5 訴訟委任のための弁護士費用

##### 第1項 「インプラントによる後遺症障害の判例」

名古屋地判平成15年7月11日…一般開業歯科医の賠償責任あり

### 第3章 医療合意とインフォームド・コンセント

#### 第1節 医療行為は違法性を阻却する

法的責任を問われないポイント

- ①治療の目的
- ②患者の承諾
- ③適正な医療行為

#### 第2節 「インフォームド・コンセント」が時代の流れ

#### 第3節 患者の自己決定権

#### 第4節 歯科医療における歯科医師の債務

#### 第5節 診療録の開示請求

第1項 <患者の治療中断に関する訴訟事件における歯科医師の主張>

第2項 個人情報保護法に関して

#### 第6節 診断書の交付請求

#### 第7節 混合診療の問題

### 第4章 法の活用・・・リーガルマインドを持とう

#### 第1節 医療過誤訴訟

第1項 刑事および民事裁判

民事訴訟手続き

第2項 歯科医療過誤事件

#### 第2節 証拠保全手続き

第1項 証拠保全の法的性質

### 第5章 判例にみる医療事故を防ぐための歯科医師の善管注意義務

#### 第3節 歯科医療過誤事件の判例

(1) 開業歯科医の善管注意義務の判例

(2) 右下顎慢性硬化性骨髓炎を罹患した患者について歯科医師の診療上の過誤が否定された判例

(3) 異物摘出手法

(4) ブリッジ補綴治療の際の支台歯築造に過誤があったとして歯科医師に損害賠償責任を認めた判例

(5) アスピリン喘息の患者が歯科医師の投与した鎮痛抗炎症剤路基礎人によりアスピリン喘息発作を生じて窒息死した判例

(6) 事前の説明、手術手技、術後管理等に義務違反はないとされた判例

(7) 開業医である歯科医師に、「エナメル上皮腫」についての診断・転移指示義務違反を認めたが、右義務違反と原告らの求める損害との間の相当因果関係の存在を否定した判例

(8) 顎関節症の治療－1

(9) 顎関節症の治療－2

(10) 歯科矯正の治療

(11) 後顎関節の噛み合わせ治療

(12) 歯科医師が投与した歯髄失活剤アルゼン漏出過失の判例

(13) 注射針が折れ患者の右上顎部組織内に残存して後遺症障害の判例

#### 第4節 歯科インプラント医療過誤の判例

(1) 歯科インプラントの判例

# 弁護士と歯科医師との対談

15:50~16:30

## パネラープロフィール

### 菅原 哲朗

1975年4月弁護士開業。

2000年中国大連市に外国法事務弁護士事務所を開設、中国に進出した日本企業の様々な法律問題を扱う。役職は、日本スポーツ法学会会長、日本スポーツ少年団常任委員、日本スポーツ仲裁機構専務理事、国民体育大会委員、同医事部会委員、国立スポーツ科学センター倫理審査委員、JOC危機管理プロジェクト班員、中国北京交通大学客員教授、日中法務交流・協力日本機構理事などを務める。

医師向けへは、病院や医師への個人的な賠償請求の現況、医師をとりまく保険賠償のさまざまな問題を取り上げ（社）日本口腔インプラント学会基礎系指導者として歯科医師へのインプラント治療に関する医療過誤訴訟の実務を講演している。

スポーツ法においては、スポーツ指導者やスポーツドクターへの教育講演、アンチ・ドーピングを説いてスポーツ医科学倫理審査なども積極的に扱っている。生涯スポーツコンベンション（文科省）、全国のスポーツ団体、地方自治体の主催する講演会における、親しみにくい法律をスポーツルールとして噛みくだいた「法リスクマネジメント」講座が分かりやすく好評である。

著書として：『少年スポーツ指導者の法律相談』（大修館書店1992年）、『スポーツの法律相談』（青林書院2000年）、『スポーツ法危機管理学』（エイデル出版2005年）他共著及び講演多数。

（社）日本口腔インプラント学会基礎系指導者。

### 谷本 佳彦

#### 【学歴・職歴】

1980年：城西歯科大学（現：明海大学）卒業

1982年：谷本歯科医院開設

2002年：医療法人社団グローバル会設立・理事長

2003年：JSOI認定講習（旧インプラント100時間コース）修了

歯周病とインプラントベーシックコース UCLA・明海大学・朝日大学ジョイントプログラム修了

藤本研究会 補綴・咬合コース修了

#### 【資格・役職】

口腔医科学会 評議員・指導医・口腔セカンドオピニオン専門医

口腔医科学会指定研修施設 グローバルインプラント研究所施設長

厚生労働省認定 歯科医師卒後臨床研修指導医

日本再生歯科医学会認定医

日本顎咬合学会認定医

### 清水 洋利

#### 【学歴・職歴】

1993年：徳島大学卒業

1997年：同大学院修了・博士（歯学）

1997年：徳島大学歯学部附属病院勤務

2001年：岡山大学歯学部附属病院勤務

2003年：外来医長、日本再生歯科医学会 理事・事務局長・査読委員

2004年：医療法人社団グローバル会勤務（谷本歯科医院・院長）

2007年：JSOI認定講習（旧インプラント100時間コース）修了

#### 【資格・役職】

口腔医科学会 評議員・指導医・口腔セカンドオピニオン専門医

口腔医科学会指定研修施設 エスクラス統合医療アカデミー施設長

厚生労働省認定 歯科医師卒後臨床研修指導医

日本抗加齢医学会認定専門医

国立健康栄養研究所認定 栄養情報担当者協会 理事

# 教育講演

16:30~17:30  
座長：谷本 佳彦



## 私のインプラント臨床

指導医 榎本 紘昭 (新潟県)

### 講演抄録

日常臨床での審美修復処置では、歯冠・歯肉状態が歯列内で調和していることが求められる。これは、インプラント修復においても決して例外でない。インプラント審美修復のその達成条件としては、欠損部顎骨の形態をもさることながら、水平・垂直的埋入位置、方向が適正であることの他、軟組織の厚さや角化の傾向など粘膜の性状（Biotype）も決して軽視できない。

天然歯の辺縁歯肉の高さと歯肉の厚さの関係は、歯列から唇・頬側に位置している歯では歯肉歯頸線は根尖側に位置し、角化歯肉幅は少なく薄い。そして歯列内下側に位置した歯では歯肉歯頸線は歯冠側で角化歯肉幅が広くて厚い。

このことから Wennström は、天然歯の位置に拘わらず、遊離歯肉の高さと、幅の比率はほぼ 1.5 : 1 の関係で歯肉状態の恒常性を保っているのではないかと、この仮説を報告している。

これに対しては野沢が、審美的に安定した歯肉状態を維持している演者らのグループのインプラント修復症例についてインプラント頂を規定面とした唇・頬側歯肉の高さと幅を測定した結果、天然歯とは逆に高さと幅の比率はほぼ 1 : 1.5 であったことを報告した。つまり、インプラント修復で歯肉形態の維持・安定を得るためには軟組織の高さより幅の厚みが優先されるという結論である。その概念に基づいた臨床的対応について述べる。

### 演者略歴

榎本 紘昭（えのもと ひろあき）

1967年 日本大学歯学部卒業

（社）日本口腔インプラント学会専門医・指導医

新潟再生歯学研究会施設長

日本歯科大学新潟病院口腔インプラントセンター臨床教授

アメリカ歯周病学会（AAP）会員

ヨーロッパオッセオインテグレーション学会（EAC）会員

平成 21 年度 UIR 主催  
(社) 日本口腔インプラント学会認定講習会  
修了者名簿

U0112	續 宏之
U0113	大門 忍
U0114	暮田 桃
U0115	米永 一理
U0116	渡辺 崇嗣
U0117	長谷川 英毅
U0118	田中 久
U0119	吉田 敏男
U0120	石田 定勝
U0121	千田 典史
U0122	舛田 明德
U0123	赤岩 経大
U0124	岡部 康浩
U0125	沼田 和治
U0126	池田 茂
U0127	石橋 良則
U0128	小林 大介
U0129	小林 伸